

第 24 期 第 4 四半期報告書

(平成 26 年 10 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社ミック経済研究所
 英文名(英文商号) MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 有賀 章
 本店の所在の場所 東京都港区芝四丁目7番8号
 芝サンエスワカマツビル 10階
 電 話 番 号 03-5443-2991
 連 絡 者 総務部長 村井 則道

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別		第 24 期 第 3 四半期 H26. 7. 1~9. 30	第 24 期 第 4 四半期 H26. 10. 1~12. 31	当期累計 H26. 1. 1~12. 31	前年同期累計 H25. 1. 1~12. 31
	第 24 期 第 1 四半期 H26. 1. 1~3. 31	第 24 期 第 2 四半期 H26. 4. 1~6. 30				
売 上 高	31,206	24,073	26,697	22,290	104,268	102,280
売 上 原 価	19,889	17,488	19,814	17,228	74,422	83,702
売 上 総 利 益	11,316	6,584	6,883	5,061	29,845	18,577
販売費及び一般管理費	7,545	6,207	5,772	5,757	25,283	24,493
営業利益又は損失(△)	3,770	377	1,110	△695	4,562	△5,915
営業外収益	23	8	8	2	39	27
営業外費用	—	—	—	701	701	—
経常利益又は損失(△)	3,794	386	1,119	△1,399	3,900	△5,888
特別利益	—	—	—	20	20	7,951
特別損失	—	—	—	516	516	—
税引前四半期(当期)純利益又は純損失(△)	3,794	386	1,119	△1,894	3,405	2,062
法人税・住民税及び事業税	43	45	42	49	180	180
法人税等調整額	575	—	—	787	1,362	△2,224
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	3,175	341	1,076	△2,731	1,862	4,107

項 目	期 別		第 24 期 第 3 四半期 H26. 1. 1~9. 30	第 24 期 第 4 四半期 H26. 1. 1~12. 31	当期累計 H26. 1. 1~12. 31	前年同期累計 H25. 1. 1~12. 31
	第 24 期 第 1 四半期 H26. 1. 1~3. 31	第 24 期 第 2 四半期 H26. 1. 1~6. 30				
期 中 平 均 株 式 数	2,025 株	2,025 株	2,025 株	2,025 株	2,025 株	2,421 株
1 株 当 た り 四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)	1,568 円 35 銭	168 円 62 銭	531 円 80 銭	△1,348 円 70 銭	919 円 71 銭	1,696 円 46 銭

注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千

円)

事業の種類	期 別					
	第 24 期 第 1 四半期 H26. 1. 1~3. 31	第 24 期 第 2 四半期 H26. 4. 1~6. 30	第 24 期 第 3 四半期 H26. 7. 1~9. 30	第 24 期 第 4 四半期 H26. 10. 1~12. 31	当期累計 H26. 1. 1~12. 31	前年同期累計 H24. 1. 1~12. 31
調 査 ・ 出 版 事 業	31,206	24,073	26,697	22,290	104,268	102,280
合 計	31,206	24,073	26,697	22,290	104,268	102,280

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別				
	第 23 期末 H25. 12. 31	第 24 期 第 1 四半期 H26. 3. 31	第 24 期 第 2 四半期 H26. 6. 30	第 24 期 第 3 四半期 H26. 9. 30	第 24 期 第 4 四半期 H26. 12. 31
(資産の部)					
I 流 動 資 産					
1. 現 金 及 び 預 金	85,770	85,796	90,107	91,407	96,283
2. 売 掛 金	11,404	18,305	14,041	13,058	7,914
3. 製 品	573	433	1,031	569	93
4. 貯 蔵 品	91	90	143	86	87
5. 前 払 費 用	1,358	1,208	1,177	1,601	1,468
6. 仮 払 税 金	1,254	376	86	88	2
7. 短期繰延税金資産	575	—	—	—	540
8. 未収還付消費税等	50	—	—	—	—
9. 貸 倒 引 当 金	△68	△68	△68	△68	△47
10. そ の 他	—	—	—	16	10
流 動 資 産 合 計	101,010	106,142	106,520	106,759	106,353
II 固 定 資 産					
1. 有 形 固 定 資 産					
(1) 工具器具備品	668	2,356	2,140	1,924	2,642
有 形 固 定 資 産 合 計	668	2,356	2,140	1,924	2,642
2. 無 形 固 定 資 産					
(1) 電話加入権	424	424	424	424	424
(2) 実用新案権	521	488	455	423	—
(3) 商 標 権	146	142	138	134	—
無 形 固 定 資 産 合 計	1,092	1,055	1,018	982	424
3. 投 資 そ の 他 の 資 産					
(1) 敷金・保証金	2,210	2,210	2,210	2,379	2,379
(2) 長期繰延税金資産	1,863	1,863	1,863	1,863	534
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	4,073	4,073	4,073	4,242	2,914
固 定 資 産 合 計	5,833	7,485	7,223	7,149	5,980
資 産 合 計	106,843	113,628	113,753	113,908	112,333

期 別 科 目	第 23 期末	第 24 期	第 24 期	第 24 期	第 24 期
	H25. 12. 31	第 1 四半期 H26. 3. 31	第 2 四半期 H26. 6. 30	第 3 四半期 H26. 9. 30	第 4 四半期 H26. 12. 31
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	326	1,253	952	86	364
2. 未払金	297	2,673	824	204	256
3. 未払費用	2,743	1,923	1,861	1,846	2,667
4. 未払法人税等	84	84	84	215	179
5. 未払消費税等	—	1,089	2,511	2,357	3,595
6. 預り金	2,298	1,083	1,447	1,399	2,315
7. 未払配当金	0	0	0	0	0
8. 賞与引当金	—	1,251	1,372	2,112	—
流動負債合計	5,751	9,359	9,055	8,222	9,378
負債合計	5,751	9,359	9,055	8,222	9,378
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000
2. 資本剰余金 資本準備金	632	632	632	632	632
資本剰余金合計	632	632	632	632	632
3. 利益剰余金					
(1)利益準備金	12,618	12,618	12,618	12,618	12,618
(2)その他利益剰余金					
別途積立金	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
繰越利益剰余金	19,842	23,018	23,360	24,436	21,705
利益剰余金合計	47,460	50,636	50,978	52,054	49,323
株主資本合計	101,092	104,268	104,610	105,686	102,955
純資産合計	101,092	104,268	104,610	105,686	102,955
負債純資産合計	106,843	113,628	113,753	113,908	112,333

項 目	第 23 期末	第 24 期	第 24 期	第 24 期	第 24 期
		第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	第 4 四半期末
発行済株式総数	2,025 株	2,025 株	2,025 株	2,025 株	2,025 株
1 株 当 た り 純 資 産 額	49,922 円 42 銭	51,490 円 76 銭	51,659 円 38 銭	52,190 円 84 銭	50,842 円 13 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本						株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰 余金 資 本 準 備 金	利益剰余金			利 益 剰 余 金 合 計	
			利 益 準 備 金	その他利益剰余金			
				別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金		
平成 26 年 1 月 1 日残高	53,000	632	12,618	15,000	19,842	47,460	101,092
第 1 四半期中の変動額							
第 1 四半期純利益	—	—	—	—	3,175	3,175	3,175
第 1 四半期中変動額合計	—	—	—	—	3,175	3,175	3,175
平成 26 年 3 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	23,018	50,636	104,268
第 2 四半期中の変動額							
第 2 四半期純利益	—	—	—	—	341	341	341
第 2 四半期中変動額合計	—	—	—	—	341	341	341
平成 26 年 6 月 30 日残高	53,000	632	12,618	15,000	23,360	50,978	104,610
第 3 四半期中の変動額							
第 3 四半期純利益	—	—	—	—	1,076	1,076	1,076
第 3 四半期中変動額合計	—	—	—	—	1,076	1,076	1,076
平成 26 年 9 月 30 日残高	53,000	632	12,618	15,000	24,436	52,054	105,686
第 4 四半期中の変動額							
第 4 四半期純利益又は 純 損 失(△)	—	—	—	—	△2,731	△2,731	△2,731
第 4 四半期中変動額合計	—	—	—	—	△2,731	△2,731	△2,731
平成 26 年 12 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	21,705	49,323	102,955

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第 5 経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の 1/4 に相当する金額を計上しております。 2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として、または還付金額を流動資産の未収還付消費税等として表示しております。 3. 金額の端数処理
千円未満の金額は切り捨てて表示しております。 |
|---|

なお、当第 4 四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第24期第4四半期（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）の業績の概況

平成26年10月～12月の国内景気はGDP前期比、年率2.2%増（速報値・年率換算）と3四半期ぶりに若干プラス成長となりました。消費税引き上げ後の反動から落ち込んでいた個人消費が、雇用・所得環境の改善により上向き始めたこと、また、一部の大手企業で企業収益の改善から設備投資が増加に転じたこと、更に円安を背景に海外生産から国内生産にシフトする輸出型製造業が増えてきたからです。

当社のドメインとするICT分野においては企業格差が目立ち、全般的に横這い基調です。中央省庁についてはIT投資が本年度に入り堅調です。一部の大手銀行、グローバル企業でシステム更改の需要が続いています。また、新しい動きとして流通・小売分野でPOSデータやソーシャルメディアの情報等を活用したBIや需要予測等のIT投資が発生してきています。

弊社においても年間通しては売上が若干増加しましたが、前年度の売上の大幅減少を回復するべく、期前半に依頼調査を集中させたことと、ベテラン社員の退職があったことから、自社企画資料の制作がずれ込み、期後半に完成が偏りました。その結果、非常にアップダウンの激しい四半期決算となりました。

これを事業別にみますと、自社企画資料の売上については第2と第3四半期は大幅減少でしたが、第4四半期は12.6%増と増加。制作・発刊タイトル数は年間15タイトルにも係らず、9月末完成を含めて第4四半期に5タイトルと偏ったためです。また、全て定番企画で需要が十分に読み切れませんでした。

一方、受託調査の売上については、既述したように第3四半期累計で対前年同期比1.95倍の大幅増の反動があり、第4四半期は68.9%減と超大幅な減少となりました。因みに、通期通しては42.6%増の増加となっております。

これらの結果、当第4四半期の売上高につきましては、22,290千円（対前年同期比12.9%減）となりました。利益につきましては、営業損失695千円（前年同期営業利益1,738千円）、経常損失1,399千円（前年同期経常利益1,738千円）、四半期純損失2,731千円（前年同期純利益12,082千円）と全て赤字決算となりました。その原因は大幅な売上減少によります。

III 第25期通期の売上高及び利益の予測について

割愛いたします。

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 24 期	第 24 期	第 24 期	第 24 期
	第 1 四半期 H26. 1. 1～3. 31	第 2 四半期 H26. 4. 1～6. 30	第 3 四半期 H26. 7. 1～9. 30	第 4 四半期 H26. 10. 1～12. 31	
現金及び預金の増減額	26	4,311	1,299	4,875	
現金及び預金の四半期首残高	85,770	85,796	90,107	91,407	
現金及び預金の四半期末残高	85,796	90,107	91,407	96,283	

(主な増減理由)

売上金等債権の減少による増加	5,143 千円
税引前当期純損失の計上による減少	△1,822 千円
未払費用の減少による減少	△1,291 千円
未払消費税の増加による増加	1,237 千円
預かり金の増加による増加	915 千円
有形固定資産の取得等による減少	△717 千円
その他	1,410 千円
合計	4,875 千円

(2) 短期借入金の増減

該当事項はありません。

(3) 長期借入金の増減

該当事項はありません。

V その他

該当事項はありません。